

地球温暖化とカーボンハーフ 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

地球温暖化とカーボンハーフ指導資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～
地球温暖化とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- 地球温暖化について知り、環境への影響があることを理解する。
- 東京都の温室効果ガス削減対策「カーボンハーフ」の取組手段の一つである水素エネルギーとその活用方法について知る。
- 自分たちが参加できる温室効果ガス削減の方法を考え、実践する。

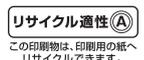
③本教材で扱う 主な内容

地球温暖化、カーボンハーフ、水素エネルギー、自分たちにできるCO₂削減対策、地球温暖化による生活への将来的な影響

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①②のグラフから分かること、地球温暖化の現状について話し合う。	○ 対策をした場合の気温予測と対策をしていない場合の気温予測を比較して考えさせる。	◆ 掲示用教材①② ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材③を見て、地球温暖化による自然や私たちの生活への影響について知る。	○ 「高温・寒波」、「氷床・海水への影響」、「農作物への影響」、「熱中症の増加」について説明し、影響が多岐に渡ることを理解させる。	◆ 掲示用教材③ ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材④を見て、地球温暖化について調べる。	○ 掲示用教材③の内容を更に詳しく調べたり、他にどのような影響があるか調べたりさせてもよい。	◆ 掲示用教材④ ■ 「COOL CHOICE『2100年未来の天気予報』(環境省)
○ 掲示用教材⑤を見て、カーボンハーフの取組である水素エネルギーについて知る。	○ 水素エネルギーは使用時に温室効果ガスを出さないこと、東京都が水素エネルギーの普及拡大の取組を進めていること、普及に当たっては、水素供給インフラである水素ステーションの整備が必要であることを伝える。	◆ 掲示用教材⑤
○ 掲示用教材⑥を見て、地球温暖化がこれ以上進まないようにするために必要な技術について考え、話し合う。	○ 持続可能な社会としていくために、どのような技術開発が必要か、アイデアを考えさせ、話し合わせる。	◆ 掲示用教材⑥ ◆ ワークシート③ ■ 「ゼロエミッション東京」(東京都環境局) ■ 「COOL CHOICE『地球温暖化対策のための国民運動』(環境省)
○ 自分にできることについて考え、発表する。	○ 地球温暖化を防止するために、自分にできること、未来の自分にできることを考えさせる。	

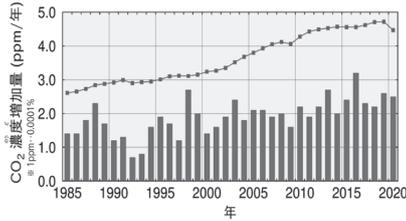
※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



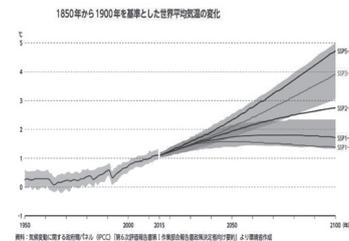
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
地球温暖化とカーボンハーフ

年 組 名前

①地球温暖化の現状と将来について考えましょう。

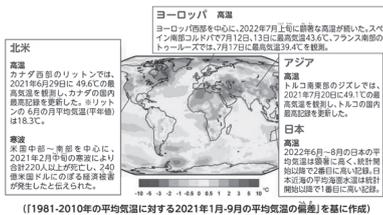


出典：気象庁ホームページ「気候変動監視レポート2021」
(https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/monitor/2021/pdf/ccmr2021_all.pdf)より抜粋



出典：「令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」
(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r04/pdf/full.pdf>) (環境省)より抜粋

②地球温暖化について調べてみましょう。



出典：「令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r04/pdf/full.pdf>) (環境省)を加工して作成

③地球温暖化を防止するためのアイデアを考えてみましょう。また、自分たちに今できること、将来できることを考えましょう。

